

# 平成24年 教育委員会第1回定例会 秘密会 会議録

日時 平成24年1月24日(火) 午後5時58分～午後6時10分  
場所 教育委員会室

## 議事日程

### 第1 報告

#### 【子ども総務課】

#### (4) 平成24年度 予算の概要【政策形成過程終了につき、公開】

出席委員 (5名)

教育委員長	市川 正
教育委員長職務代理者	中川 典子
教育委員	古川 紀子
教育委員	近藤 明義
教育長	山崎 芳明

出席職員 (9名)

子ども・教育部長	高山 三郎
次世代育成担当部長	保科 彰吾
参事(子ども健康担当)	清古 愛弓
子ども総務課長事務取扱 子ども・教育部参事	高橋 誠一郎
子ども施設課長	佐藤 尚久
子ども支援課長	依田 昭夫
児童・家庭支援センター所長	山下 律子
学務課長	平井 秀明
指導課長	坂 光司

書記 (2名)

総務係長	小宮 三雄
総務係員	成畑 晴代

市川委員長 | それでは、再開をいたします。ただいまから平成24年教育委員会の第1回  
| 定例会秘密会を開会いたします。

◎日程第1 報告  
子ども総務課

#### (4) 平成24年度 予算の概要

市川委員長  
子ども総務課長

子ども総務課長から報告をお願いします。

では、政策形成過程にあるため非公開との決定をいただいておりますが、平成24年度予算が区議会で議決された後には会議録を公開する手続をとりたいと思います。よろしく願いいたします。

それでは、早速、24年度の予算につきまして、資料を用いましてご報告させていただきます。大分時間も迫っていますし、非常に駆け足となりますけれども、ごくごく簡単にご報告させていただきます。

まず、本冊子、予算編成作業はほとんど大詰めに迎えておりまして、こういう一般——これは子ども・教育部で所管しております予算の概要を抜き取ったものでございます。ほとんどこの形でオープンになるというふうにご理解いただければと思います。

それでは本文に入りますが、非常にかいつまんでの説明となりますので、ご容赦いただければと思います。

まず、本文の7ページをお開きいただきたいと思います。「特色ある教育活動」の中で、これは3段目にあります「部活動等の推進」。これがとりわけ拡充する事業でございます。

本文の②番に部活動の推進と、これは本文の14行目にありますが、本区の小学校、中学校、中等教育学校のクラブ活動は非常に顕著な成績を昨年度も残しておりまして、こういった活動についてさらに力をそそぐべきだという考えがございますので、来年度、額にして約600万ほど増額ということで、この部分、拡充してまいるところでございます。

続きまして、10ページをお開きください。「中学校土曜学習教室」でございます。これはかねてから課題となっております在来型中学校の充実の一環といたしまして、在来型中学校の生徒の学力向上を目指しまして、本年度予算に比しまして約1.7倍の予算増加で学力向上を目指すものでございます。

続きまして、12ページです。「子どもの遊び場確保の取組み」でございます。こちらは子どもが伸び伸びと遊べる空間をどのように創出するか。具体的には、大体道路ですとか公園ですとか、千代田の場合はオープンスペースがない中で、こういった工夫をしながら規制を解いて遊ばせるかということについて、いろんな実証実験をしながら、また、学識経験者のご意見、地域の方々のご意見をいただきながら、子どもの遊び場確保条例というのを25年度制定に向けましての検討に入らせていただくと。そういった予算を組んだものでございます。

それでは、13ページをお開きください。「子どものための手当等の支給」ということで、こちら、国の制度がまた変わったのですが、そういった中でも、区独自として、所得制限のない手当といたしまして、この網かけの部分、妊娠時の手当、あるいは高校生に対する月額5,000円の手当、こ

ういったものにつきましては、引き続き支給をしておりますといった、そういった事業の説明でございます。

続きまして、19ページをお開きください。これは先ほど、子ども施設課長がご説明いたしましたことと関連いたしますが、次年度はこの地域認可保育所整備に当たりまして建設協議会をつくり、地域の意見をいただきながら、精力的に取り組んでいくんだと、そういった形での予算を組んだものでございます。

それでは、20ページをお開きください。「家庭的保育事業」、これはいわゆる保育ママさん事業を本区でもいよいよ開始するものでございます。それに伴う予算ということでご理解いただければと思います。

続きまして、ちょっと飛びます。25ページをお開きください。これは指導課長のほうからもありましたように、教育目標の中でも触れておりますけれども、「防災教育の推進」。これまでの避難訓練とさまざまな形で学校は防災教育に取り組んでまいりましたが、とりわけ、小学校高学年から中学校、中等教育学校までの児童・生徒を対象に、より体験的・実践的な防災教育を行うための予算づけをしたものでございます。

続きまして、27ページをお開きください。これは先ほど児童・家庭支援センター所長からもご報告申し上げましたけれども、子ども発達センター整備にかかわる予算でございます。

続きまして、31ページをお開きください。こちらは、先ほど中川委員そして指導課長とやりとりがありましたけれども、校内通級指導についての推進でございます。具体的には本文の6行目をごらんいただければと思います。麴町中学校と神田一橋中学校、この両校で校内通級指導を行う予定ということ予算化したものでございます。

それでは、おめくりいただきまして、35ページをお開きください。「お茶の水小学校・幼稚園施設整備の調査検討」でございます。こちら、本文の3行目にありますお茶の水幼稚園の仮園舎が、今、錦華公園内に設置しております。仮園舎といいながらも、既に約20年が経過しております。その間に本校の校舎も相当老朽化が進んでおります。そういった中で、本校校舎整備そして幼稚園整備の改修について、いよいよ検討しております。そうした中で、記載もごございますけれども、この近隣の明治大学にも、施設整備の計画が、地域を巻き込んで聞こえてきております。そういった明治大学の連携も含めて、できるかどうかも含めての検討を次年度進めてまいると、そういったための調査費用をつけたものでございます。

そして、37ページをお開きください。「九段中等教育学校改修整備」でございます。これは当委員会でもご報告申し上げましたけれども、かねてから懸案の、富士見、九段校舎をつなぎます連絡通路整備の予算をつけ、明らかな意思表示をしたという、そういうふうにご理解いただければと思います。

続きまして、39ページをお開きください。こちらは、(仮称)千代田幼

保一体施設の整備経費でございます。これは本年度の昌平幼稚園に引き続き整備する経費を積んだものでございます。

そして、最後でございます。40ページ、ささやかではありますけれども、番町小学校の校庭の一部を芝生化する、そういった予算立てをしたものでございます。

非常に駆け足ではございますが、予算の概要の根本をかいつまんで、肝心なところについてのご報告を申し上げます。

市川委員長

非常にかいつまんだ説明で、ございましたけど。

これは、議決ものですか。

子ども総務課長

予算の区長の記者会見が、確か2月9日を予定しております。その後はオープンになってしまいますので、その後はもう、全体のことについても含めてのご説明をもう一回する機会があればと考えております。

市川委員長

はい、わかりました。

それと、指導課長にちょっとお尋ねしたいんだけど、直接、今のとは関係ないんだけど、今、学校における防災の教育ということで、自分で考えて、自分の身を第一に考えて逃げろというような話がありますよね。確かにそうなんでしょう、実績もあるけども。ただ、本当にそれで、千代田区みたいなのところはいいのかなど。地震なんかがあった場合に、上から物が落下してくるとか、そういうような危険な場所というのは、幾つか想定できるはずなので、その点、本当に文部科学省がそんなことを本気で、まあ本気で考えているんでしょうけど、津波は地震のあれじゃないわけですからね。火事も起こるでしょうし。その辺を十分にちょっと考えてほしいなと。そう言っているからそうするんだと。御身大切、自分さえ逃げられればいいというんじゃ、ちょっと違うんじゃないかなど。千代田区の場合はね、特に。というようなことを感じますので、一言だけ、申し上げておきます。

先に発言してしまいました。何か、ございますか。

(「なし」の声あり)

市川委員長

よろしければ、時間もあるわけですし、その間にいろいろ見ていただいて、ご質疑等があれば、順次お願いをしたいと思います。

ほかに、以上で本日予定した議事については、質疑はございませんでしょうか。

(「なし」の声あり)

市川委員長

本日の定例会を閉会いたします。